

学 位 論 文 要 旨	
氏 名	チャン.ミン. ハイ
題 目	ベトナム・メコンデルタにおける農業協同組合の発展戦略 (Development strategy of the agricultural cooperatives in the Mekong Delta, Vietnam)
<p>本論文ではベトナムの農業の中心地の一つであるメコンデルタにおける農協の発展戦略について検討することを目的としている。</p> <p>そこで第一に、1996年の協同組合法制定後のベトナム農協が直面している課題と困難について、マクロ環境、ミクロ環境、内部環境の三つの局面について検討した。考察の結果は以下のようにまとめられる。</p> <p>第一に、新協同組合法後、マクロ環境、ミクロ環境、内部環境それぞれにおいて、農協は活動を多角化し、多くの利益を組合員、非組合員にもたらした。また農協の収益も改善し、小規模農協は合併し組合員を拡大し、経営管理も改善された。</p> <p>第二に、一方でベトナム農協は協同組合法のもとで多くの困難に直面している。法律がICA原則と一致していない面がある。また旧農協は多額の負債を抱え、旧農協への不信感も農協発展の阻害要因となっている。農協の役員の管理能力が低いことが問題である。教育水準が低いため、能力や知識に欠けている。</p> <p>次に、メコンデルタの農協の現状について明らかにした。メコンデルタの農協は農協数は増加しているものの、一農協当たりの組合員数が減少している。またメコンデルタ全体では21.9%の加入率しかなく、様々な困難に直面している。</p> <p>メコンデルタの中心部アンジャン省を対象に62戸と農協組合員と61戸の非組合員を抽出し、農協が農業生産に与えている効果について検討を行った。その結果、農協は組合員にも非組合員にも利益をもたらしているが、組合員の方が灌漑や収穫機械利用などにおいて大きな利益を得ており、農家の収益も高くなっていることが明らかになった。農協が農家経済に果たしている役割が大きいことが調査結果から検証できた。</p> <p>メコンデルタでは多くの農協が未発達の水準にあるが、いくつか農協自体の成功事例が見られる。そこで次に農協の成功要因を明らかにした。ここでは成功指標を、組合員や非組合員に対して利益やコスト低減において有利なサービスを提供していること、組合加入率が向上していること、出資金、運転資金、資産、利益などを向上させていることにおいた。</p> <p>その上で、メコンデルタの7つの成功農協を調査し、そこからプータンと3Aの二つの農協を選んで考察対象とした。第1に、両農協とも、管轄地域における乾期の灌漑、雨期の排水という用排水サービスを提供しているが、組合員には非組合員より料金を割り引いているため、組合員の用排水コストは低く抑えられている。第2に、民間業者の半額程度でコンバインサービスを提供している。第3に、良質品種の種子を供給している。第4に、組合員への低利資金の供与である。第5に、プータン農協は、無料の救急車サービスを行っている。第6に、3A農協は、多くの非営利活動、例えば栽培暦の配布、運送サービス、普及情報提供、健康診断などを行っている。</p> <p>以上の結果、ベトナムメコンデルタの農協においても活動の多角化や農業生産のみならず、農村生活に係る活動の活発化が農協発展要因となっていることが明らかとなった。</p>	